

令和5年度版 電気安全パンフレット

【②一般向け】サンプル

※ こちらの画像はイメージであり、実物とは一部異なる場合がありますので、お好みおきください。

表側

価格：1部 88円(税込) (ご注文は10部単位で50部以上から承ります。)

送料：送料先1カ所につき1,100円(税込) ※1カ所につき送付部数が300部以上の場合は無料

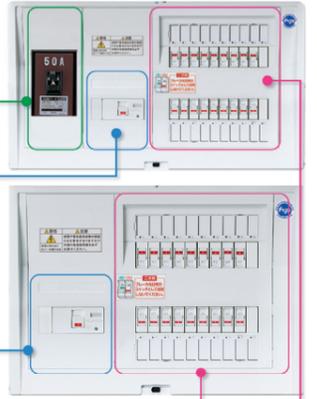
刷り込み印刷：ご希望により、パンフレット表面下部ならびに裏面下部に社名等を印刷いたします。

- ・黒一色印刷費 14,300円(税込) ※注文数2,000部以上の場合は無料
- ・カラー印刷費 33,000円(税込) ※注文数に関わらず一律料金

分電盤は電気の見張り番!

家庭に送られてきた電気は、分電盤をとおって各部屋に届けられます。分電盤には、漏電遮断器(漏電ブレーカー)、配線用遮断器(安全ブレーカー)が取り付けられており、電気のをしっかりとガードしています。もしもの場合にそなえて分電盤がどこにあるのか、確かめておきましょう。また、分電盤の前には物を置かないようにしましょう。

分電盤には一般的に写真のとりの2つのパターン(電流制限器あり・なし)があります。



電流制限器
容量以上の電気が流れると自動的に電気が止まるしくみになっています。
※地域の条例、スマートメーター(デジタルで計測する電力計)導入の有無などにより、電流制限器の取り付けがない場合や、色・名称が異なる場合があります。

漏電遮断器(漏電ブレーカー)
感電や火災の原因となる漏電をすばやく検知し、自動的に電気を止め、電気事故を未然に防ぎます。過電流に対応しているものもあります。長期間使用していると、経年劣化などにより正しく作動しなくなることもあります。ご家庭で定期的にテストボタン(灰色または赤色)を押して確認するようにしましょう(テストボタンを押して、正常に作動した場合は家全体が停電となりますのでご注意ください)。テストボタンを押しても作動しない場合は、お近くの電気工事店へご相談ください。なお、取り替えの目安は15年程度です。また、単相3線式(100V/200V使用可能)の配線には、「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」をおすすめします。



「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」とは?
多くのご家庭で使用されている単相3線式配線では、中性線(真ん中の白い電線)の接触が悪くなると電圧が不安定になり、通電中の電気機器が故障することがあります。これはごく稀に漏電遮断器の端子部分のゆるみなどが原因で起こるもので、中性線欠相保護機能付き漏電遮断器は、このようなときに、いち早く電気を止めることができます。

配線用遮断器(安全ブレーカー)
電気の行き先(回路)ごとに、配線用遮断器がついています。配線が過熱するのを防ぐため、コードがショート(短絡)したり、決められた容量を超える電気が流れ続けると自動的に電気を止めます。例えば、電気炊飯器とホットプレートと同時に使用すると26Aとなり、配線用遮断器の容量20Aを超えるため、配線用遮断器が作動して電気を止めます。エアコン、衣類乾燥機などの電気を多く使う機器は、専用回路にすることをおすすめします。



災害にそなえましょう

災害はある日突然やってくる。普段から災害時のそなえや心がまえをしておけば、いざというときにもあわてずにすみませう。



アツ地震! グラツときたときは

スイッチを切って、プラグを抜いて
地震のときは火災に注意。アイロン、ドライヤー、ストーブなどの熱を出す機器を使っているときは、プラグをコンセントから抜きましょう。

電流制限器が漏電遮断器を「切」にして避難

地震でいったん(もしくは一度)停電になっても、送配電事業者の設備に問題がなければ、再び電気が送られてきます。自宅を離れ避難するときは、電気の消し忘れなどによる事故(通電火災)を防ぐために、分電盤の電流制限器または漏電遮断器を「切」にしてください。地震がおさまったら電気機器の安全をチェックしましょう。ガス漏れのおそれがあるときは電気を使用しないようにしましょう。



※強い地震を感じた自動で遮断する感震ブレーカーというものもあります。漏電遮断器

ビカツ、ゴロゴロ 雷だ!

プラグを抜いて!
落雷による影響で、電気機器が壊れたり、火災が発生することがあります。近くで大きな雷が鳴ったら、電気機器のプラグはコンセントから抜き、電話線もモジュラージャックから抜くようにしましょう。なお、雷に対応した分電盤は、電源線、アース線より侵入する雷から、家庭の電気機器を守ってくれます。



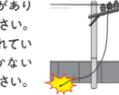
台風・暴風雨にそなえて

飛来物防止のために屋外設備等をしっかりチェック
強風でアンテナやタン屋根、自転車等のカバー、ハウス等のビニールシートなどが飛ばされ、電線・電柱にかかる、断線や電柱倒壊等を引き起こし長期停電の原因になります。台風などによる強風に備え、あらかじめ屋外に設置されているものはしっかり固定することを心掛けましょう。また、台風による浸水などで屋内配線や電気機器が水に浸かってしまった場合は、使用前に必ず電気工事店などにご相談ください。



切れた電線には絶対にさわらないで!

送配電事業者へすぐご連絡を
たれ下がった電線にさわると感電するおそれがあります。切れた電線には絶対にさわらないでください。また、樹木や看板、アンテナなどに電線がふれている場合も危険です。見つけたときは近づかないで、すぐ、お近くの送配電事業者にご連絡ください。



日頃のそなえ

- ◆白旗から、懐中電灯(予備電池式のものもあります)や携帯ラジオ、防災リュックなどを用意しておきましょう。また、電気の契約先(小売電気事業者)や電気工事店の連絡先を確認しておきましょう。
- ◆モバイルバッテリーや手動発電機等、携帯電話やスマートフォンなどを充電できる装置を用意しておく、いざというときに役立ちます。
- ◆停電によるパソコンのデータ消失などを防ぐには、UPS(無停電電源装置)などの設置をおすすめします。

裏面下部 社名等刷り込みスペース

T 70mm × W180mm



表紙下部 社名等刷り込みスペース

T 30mm × W180mm

企画・編集: 電気安全全国連絡委員会 発行: ©一般社団法人日本電気協会 <https://www.denki.or.jp> 2023.7

体裁: A4判/3つ折6頁/カラー印刷
企画協力: 東京電力パワーグリッド(株)、中部電力パワーグリッド(株)、関西電力送配電(株)、(一財)関東電気保安協会、電気安全東北委員会、電気安全関東委員会

電気を正しく使えていないせいで、電気お化けがいっぱいだ。

電気の使い方(上)と解説(下)を見ながら電気の正しい使い方を確認していこう! 確認できたらチェックをして、12個の電気ゲージをためてお化けを退治しよう!

- 1 なんだかコードが苦しそう... **チェック**
- 2 コードの扱い方は大丈夫? **チェック**
- 3 いたずらしている子がいるよ? **チェック**
- 4 そんなに差して大丈夫? **チェック**
- 5 勝手にやったらまずい気が... **チェック**
- 6 えー! まさかひびくって? **チェック**
- 7 プラグがフラフラ... 良いのかな? **チェック**
- 8 何か忘れてない? **チェック**
- 9 その手でさわって良いのかな? **チェック**
- 10 プラグの上きれいな? **チェック**
- 11 ドライヤー、このままで大丈夫? **チェック**
- 12 お化けみたいになっちゃうよ? **チェック**

正しい電気の使い方は? 学べたかい? 自分の家の電気の使い方でも定期的に確認して電気お化けが発生しないようにするのじゃよ!

確認1回目 /12 年 月 日
確認2回目 /12 年 月 日

解説 + 詳細

- 1 コードを束ねたり巻いたりしてはいけません**
コードを巻いたり束ねたりすると過熱し、火災などの原因になり危険です。
- 2 コードを傷めないようにしましょう**
コードが傷んで過熱し、火災などの原因となり危険です。また、家具でプラグを押し付けないようにしましょう。
- 3 プラグ以外を入れないで!**
コンセントにプラグ以外のものを差すと感電するおそれがあります。小さいお子様がいる場合は使用しないコンセントにカバーの取り付けをおすすめします。
- 4 コードの差し過ぎは危険です**
危険なたこ足配線はやめましょう。コンセントやテーブルタップの容量を超えて、一度にたくさん電気機器を使うと過熱し、火災などの原因になり危険です。
- 5 無資格者による電気工事はやめましょう**
無資格者による電気工事は、感電や事故につながります。必ず、電気工事店などに依頼しましょう。なお、無資格者による電気工事は違反行為です。
- 6 コードをひっぱらないで!**
コードが傷んで断線や過熱の原因になるので、コードはひっぱらず、必ずプラグ部分をもって抜きましょう。
- 7 奥までしっかり差しましょう**
プラグがゆるんでいると、過熱し、火災などの原因になり危険です。プラグはコンセントにしっかりと差し込みましょう。
- 8 アース線を取り付けましょう**
洗濯機やエアコン、電子レンジ、冷蔵庫などのアース線を専用の接地端子に取り付けましょう。アース線は感電などの危険を未然に防ぎます。
- 9 めれた手でプラグをさわると危険です**
めれた手でプラグやスイッチをさわると感電のおそれがあります。さわるときは必ず手を洗って水気をとりましょう。
- 10 とときプラグやコンセントを掃除しましょう**
長期プラグを差し込んだままにしておくとほこりがたまりトラッキング現象(電気のお化け)の原因となります。時々プラグを抜いた布などで掃除しましょう。
- 11 熱が発生する電気機器は、使ったあとは必ず抜きましょう**
アイロンやドライヤー、電気ストーブなどはスイッチを切り忘れると火災の原因になるおそれがあるので、使ったあとは必ずプラグを抜きましょう。
- 12 傷んでいたら新品に交換しましょう**
感電やショートの原因となるので、傷んだプラグやコンセント、コードは使用せず取り替えましょう。

電気のまめちしき

安心、便利な器具のご紹介

遮断器付テーブルタップ
決められた電気の容量を超えると、内蔵されている安全ブレーカーが作動し、電気を止めます。電源を差込口ごとに入り切りできる節電スイッチがついているものもあります。

便利な200Vの電気機器
200Vの機器には、高効率のエアコン、IHクッキングヒーター、電気給湯器、家庭用の電気自動車などがあります。200V機器を使うには、その機器専用の屋内配線およびコンセントが必要となります。詳しくは販売店または電気工事店に相談してください。

停電のときでも安心な保安灯
コンセントに差し込んでおくことで、停電のときは自動的に点灯します。なお、ふだんは常夜灯として利用できるものや、コンセントからはずすと懐中電灯に使えるものもあります。

アウトドアでの注意点

「トラッキング現象」に気をつけましょう。
火災の原因のひとつとして「トラッキング現象」があります。長期プラグを差し込んだままにしておいたために、プラグとコンセントの間にたまったホコリが強気を帯び、プラグの刃の間にわずかな放電が繰り返されることが発端となり、プラグが突然発火する現象です。火災の原因になることがあるので、プラグやコンセント周りを乾いた布などで掃除しましょう。また、「トラッキング防止カバー」の取り付けも有効です。

釣りがおこなわれる場所では、電線に近づくと感電する危険があるので注意しましょう。

※万一、電線などにひかかった場合は必ずお近くの送配電事業者に連絡をお願いします。

電気火災に注意!

衣類や布巾などの可燃物が電気ストーブの近くにあると、ちょっとした火花で電気ストーブに接触し出火のおそれがあります。燃えやすいものの近くで電気ストーブを使用するのはやめましょう。また、照明器具やランプは、点灯時に高熱を発しています。布や紙などの可燃物で覆わないようにしましょう。

長期間使用した電気機器に注意!
古い電気機器を使い続けていると、気づかないうちに部品等が劣化して事故につながるおそれがあります。「いつもと違う」「何か変だな」と感じたら、すぐに使用を中止してメーカーや販売店などに相談しましょう。

電気を上手に使って省エネしよう 具体的な省エネのポイント

エアコンの設定温度は控えめに。フィルターをこまめに掃除することで省エネになります。

必要な照明以外は消しましょう。また、白熱電球は電球型蛍光灯やLEDランプに取り替えると省エネになります。

冷蔵庫の温度設定を「強」から「中」にすることで省エネになります。また、扉の開閉回数や時間を減らすことも効果的です。